



色々な夢や希望を実現して明していくかが重要です。

を

内各地で沸き起こるような地域に活力を与えるような

十組

六み同

年度県に

待ちしております。 皆さまからの貴重なご意見ご提案をお

して七三四三億円。これは平成十六年度二六九億円。次に平成二十六年度予算とのための経済対策」に対応するために公のための経済対策」に対応するために公のにの主なものは、まず「国の好循環実現 感以で来 皆寒 デーストーでである。 デートの関会しました。 二月十八日に開会したは 来の予算規模となります いかがお過ごしですかった冬も終わり春が 日に開会した定例県議会も三 春が訪 れまし

現する、④百年 を創る、②アジアとつながる、 きるくまもと」の実現に向 予算化されま の礎を築く ために公置の 一 小 小 で ま 力 の 実 て

するためのものであり、新4カ経済を成長軌道に乗せ、持続的これは着実に回復を続けて あります。

興、景気回復の実現を図るためのもので加速化、熊本広域大水害からの着実な復するためのものであり、新4カ年戦略の経済を成長軌道に乗せ、持続的なものと 今後はこれらを基に国 B いそ かし に活

のとり

復を続けて る県 /自民党青年局 伊勢神宮参拝



台湾高雄との国際線航空路線就航に向けて

月)は阿蘇くまもと空港と高雄をのチャーター便は七○便、旅を数は七五一○人の実績があります。世界の国の中でもトップクラスの友好国で親日的な台湾とチャーター便から定期便になることでもっと多くの方々が態 湾高雄との間で締結された今回の目的は昨年、熊本県で台湾を訪問して来ました三月二十一日から二十五 私はマンダン目指すトップ ました。 係協会の方々と懇談させて頂き会、高雄空港を訪問、また亜東関 はじめ、 と国際線航空路線就航 連携協定を踏まえ、 平成二十五年度(四月 県議会、 ッププ 日から二十五日も ルスです 、熊本県と台 された経済 事を 、高雄市 体の 0 から二 方 々



た。

















治新春の集ら

みなさまのお志に感謝致します。 ありがとうございました。

平成26年2月7日、新春の集いを開催いたしました。 当日ご出席いただいた皆様、ならびにご協力いただいた皆様に 心より感謝申し上げます。



▼編集後記

「窮して変じ、変じて通ず」 昨年10月、93歳で亡 くなった川上哲治氏が師と仰ぐ正眼寺の梶浦逸 外(かじうらいつがい)師からいただいた言葉だと いいます。真剣にやっていれば必ず行き詰まる。そ れでも一心になってやっていると、ひょいと通じる ものだ。通じないのは行き詰まる段階までいく真 剣さが足りない、という意味のようです。「真剣」と いう言葉を大辞林で調べると「一生懸命に物事を するさま。本気であるさま。」とあります。行き詰 まってると思いきや、実はまだまだ行き詰まるの レベルに足りてない。一生懸命に、ひたむきに、一 心に、本気に・・。地域づくりに対しても常にそんな 気持ちを持ち続けたいと思います。<K.T>

この会報のお問合せは

溝口幸治事務所

人吉市駒井田町1952-34

tel 0966-22-5800 fax 0966-22-5802 http://www.k-mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所 記載責任者 富山孝治

みぞぐち幸治後接会 所在地 A C C E S S M A P 造ド ● 農免道路 JR人吉駅 ローソン ほっかほっか亭

宮城県被災地 は千年に一けた女川町 処しつつ、如何に将来世代に引きの課題にスピード感を持って対は千年に一度のまちづくり」「今 残せるかどうか、それが今次復興 被災地のどこの地域もそれぞれ の本義であり本質」 継げるまちを創りあげられるか 6した。「今やって町の須田善明5 町

じました。



した。 日本大震災から三年が経ちま

毎年、 目でした。 宮城県を訪問、 女川町には二

現状を一言で言えば「復興事 ことです ようやく始まったばかり」という 業は

く耳にしますが、全てにおいてこ三年経って「風化」という言葉をよ れからです

町の約八割が壊滅的な打撃を受

ているの所長が言

の復興計画を策定しそれを実行 に移して行く段階です



と脅威を乗り越えてきた先人とた来る災害に備えて、自然の猛威言の中に「わたしたちは、いつま言の中に「を賀城市の減災都市宣 化させることなく、未来に継承しわたしたち自身の経験・教訓を風 まさにどこの自治体も心掛けな の言葉が印象的でした。ていかなければなりません。」こ ければならないことです

今年の追悼式での天皇陛下の

学商学部一年生)と野間春子さん 受け入れ、木村泰近君(熊本学園大 (熊本県立大学文学部一年生)の二 へが、二月七日から約1 今春も議員インター を行いました 一ケ月、議員 ンシップを

交換。靖国神社参拝などを行いま 事堂を見学し、 を傍聴。また、国政視察では国会議 **沽動を体験しました。** 熊本県議会では定例会や委員会 国会議員との意見

した。

ました。

相良三十三観音巡りなどを体験し

身の二人は泊まり込みでの活動。 青井阿蘇神社での蓮池清掃活動や 人吉市での活動は、人吉市外出

ていました。聞を広めていきたいです」と話し 直すきっかけになり、生まれ育っで、改めて自分の地元や地域を見 継いでいる方々と触れ合うこと 近なものであると感じるようにな のと思っていましたが、今回 人の意見を聞いたり経験をして見目で見て学び、足を運んで様々な た場所を大事にしたいと思うよう は、地域の大切な宝物を守り、受け りました。また、人吉市での活動 「政治は生活とは直接関係ないも になりました。これからは自 ンターンシップを通して政治は身 のイ

本地図を子供達に!」「全国展開中 熊本県発『正しい日

私の提案により熊本県で始まった取組みを自民党青年局長 松本洋 平代議士(東京19区)の呼び掛けにより今年の青年局全国大会にお いて、全国の仲間で力を合わせて取り組んでいこうと決定されました。 その後、岐阜県、東京都を青年局の同志が議会質問等を通して「子供 達に正しい日本の姿を教えていきましょう」と運動を展開中です。 国会でも衆議院文部科学委員会で宮川典子青年局次長(山梨1区)が

質疑の中で「わが党の青年局で、今、正しい日本地図を普及させようと いうことで、全国運動を始めております」と、熊本県教育委員会が作成 した地図を与野党委員に披露されました。下村博文文科大臣からは 「関係の皆さんが大変御努力をされていることに対して、本当に敬意と 感謝を申し上げたい。しっかりと受け止めながら、領土教育において、 子供たちに正しい知識を学ぶ環境をつくっていく」とのエールがあり ました。

また、熊本出身の西川京子副大臣からも「自民党青年局とのキャン ペーンと相まって、一つの大きな果実が実ってきつつあるということ は、本当に文科省としてもありがたい。文科省としても、現場の創意工 夫のある取り組みについても、適切に情報を提供しながら、お互いに 日本の領域についての理解をしっかりと深めていきたい、そういう思 いで頑張っていく」との答弁を頂きました。



の質と人員、それに住民との信頼ーシップとそれを支える行政職員勝負の分かれ目は首長のリーダ 関係が構築できるかどうかだと感 たい に対する心がけを育み、安全な 国土を築くことを目指して進んで 国土を築くことを目指して進んで 国土を築くことを目指して進んで きにわたって国民みなが心を一つからを過ごしていかれるよう、長どうか希望を失うこと無く、これ そして、この大震災の記憶を決 います。この人々の健康が守らも様々な苦労があることと察り きたいと思います と思います にして寄り添っていくことが大切 お言葉「被災した人々の

